

## 機能材料設計（履修者として10から20人ほどを想定）

### 目標

機能性材料について興味をもち、現状や将来性についてみんなで議論する

テーマ（予定）：光電変換、蛍光発光、ナノカーボン、イオン伝導、表面修飾、ハイブリッドなどの機能性材料

### 進め方

#### 初回

目標、進め方、評価法を説明する

グループを6組作る

2回から7回までの講義内容を説明し、興味のある機能性材料を決める（じゃんけん）

教員がショート講義を行う

#### 次回まで

発表グループは、ショート講義を参考に、自分たちが選んだ機能性材料の現状や将来性について調査し、パワーポイント資料を準備する（前日までに教員宛てに資料をメール送付する）

図書館の本やインターネットサイトなど、Wikipediaを除けば、何から情報をとっても構わないが、必ず出典を引用する（誰が書いたか分からない文章は使用しない）

#### 2回目以降

最初に、発表グループがスライドでプレゼンする

次に、聴講グループが発表内容について質問し、発表グループがこれに答える（質疑応答タイム）

最後に、教員が次回のテーマに向けたショート講義を行う

### 評価法

発表グループのスライドは見やすかったか、内容はまとまっていたか、自分たちの質問に的確に答えてくれたかについて学生が評価

学生の評価点、教員の評価点を総合して成績をつける